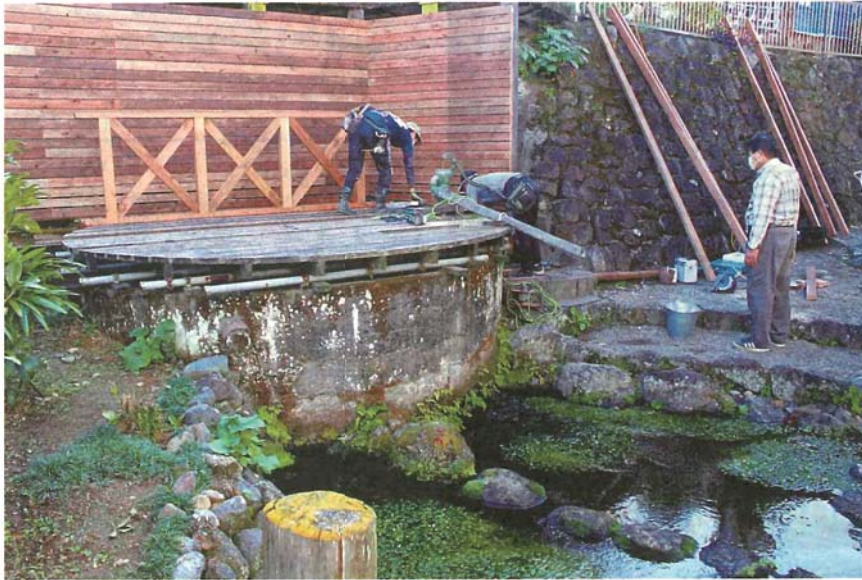


2020年(令和2年)11月16日(月)

木の階段を作るなどの雷井戸の改修が進む。左奥の壁板は新設され、手すりは新調した三島市南本町で



「雷井戸」お化粧直し 三島

三島市南本町で富士山を水源とする湧水が自噴する「雷井戸」の改修、修景作業が行われている。ウッドデッキと手すりを新調。散策しやすいように石段を木の階段に改良し、井戸奥のコンクリート壁に目隠しの化粧板を施す。12月にはきれいな姿になるといふ。

雷井戸は江戸時代からあり、昭和初期にコンクリート製になったと考えられている。雷が落ちて水が湧き出したため、その名が付いたという説もあるが定かでない。直径約3.5m、深さ約2.5m。市の上水道ができるまで、約70

世帯が飲み水に使う簡易水道の水源だった。現在は市が所有。維持管理を地元のNPO法人・グラウンドワーク三島がする。雷井戸の水をひいた横の池は清流に育つ水草ミシマバ

イカモが白い花を咲かせている。修景作業は既存の手すりや井戸の蓋が古くなったため、10月31日から週末に行われていく。目隠しの化粧板と手すりは完成。14日は

木の階段の取り付けや井戸の蓋の研磨作業、階段などに使う板に防腐剤を塗る作業が行われた。

【石川宏】

